

船舶事故等調査報告書

平成24年11月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第76号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成24年4月12日 12時30分ごろ
発生場所	大阪湾北部 兵庫県神戸市和田岬南方沖 神戸市所在の神戸灯台から真方位170° 4.0海里付近 （概位 北緯34° 35.0′ 東経135° 11.0′）
事故等調査の経過	平成24年6月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	ケミカルタンカー <small>しんわ</small> 伸和丸、199トン
船舶番号、船舶所有者等	82723、株式会社菅原ジェネラリスト
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）
死傷者等	なし
損傷	主機 過給機の焼損
事故等の経過	本船は、船長及び機関長ほか1人が乗り組み、苛性ソーダ約450tを積載し、明石海峡大橋を通過して阪神港堺泉北区に向けて東進中、平成24年4月12日12時30分ごろ主機の過給機が故障して主機の運転ができなくなった。 本船は、和田岬南方沖で錨泊後、乗組員による修理を試みたが、修復できなかったため、救援を要請してタグボートにえい航されて阪神港堺泉北区に着岸し、荷揚げを行ったのち、えい航されて香川県丸亀市丸亀港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	本船は、昭和34年に進水し、苛性ソーダの運送に従事していた。 主機の過給機は、オイルゲージから潤滑油が漏れて油量が少なくなっていた。 過給機は、潤滑油不足で焼き付いていた。
分析	
乗組員等の関与	不明
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、和田岬南方沖を東進中、主機の過給機のオイルゲージから潤滑油が漏れて油量が不足したことから、過給機が焼き付いて主機の運転ができなくなり、運航不能になったものと考えられる。 オイルゲージから潤滑油が漏れた状況については、明らかにするこ

	とができなかった。
原因	本インシデントは、本船が、和田岬南方沖を東進中、主機の過給機のオイルゲージから潤滑油が漏れて油量が不足したため、過給機が焼き付いて主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 過給機の潤滑油量確認を励行し、油量が減少する場合は減少理由を究明して対処すること。